



検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見・ご感想をぜひお聞かせ下さい。

♥ 111人目



一步一步

受付入力部門では、依頼書の属性を正確かつ迅速に処理しなければなりません。覚えることや約束事も多く、医療系の分野に明るくない私には大変な苦勞を要しました。パソコン入力には多少の経験がありましたが、先輩方とは処理スピードが全く異なるため、今は少しでも早く入力できるよう日々努力しています。

検査センターに入所して感じたことは、少量の血液の中にも多くの情報が詰まっていること、また、その情報を大切に扱うためにも個人属性を間違えてはいけないということです。

他方、シフト勤務を活用して、午前中にバイオリンとエレクトーンのレッスンを続けています。これまでは週末や夜に通うことが多かったのですが、出勤前のレッスンも新鮮な感じがして、とても良い刺激になっています。

♥ 112人目



アナログからデジタルへ

安芸市民コースの集配業務を担当させてもらい3年余りですが、その時初めて手書きの依頼書ではなくフロッピーディスクでの検体受け渡しを体験することになりました。全くのアナログ人間だった私は、まずフロッピーディスクって何？から始まり、どういう仕組みなのかもわからず不安だらけでした。

ちょうどその頃、私の趣味であるカメラもフィルムからデジタルに変わりました。私はニホンザルが大好きでたくさんの写真を撮りためていましたが、友人にせっかくだからホームページを立ち上げて写真を載せてみてはと勧められ、一念発起してパソコン教室に通い勉強しました。

フロッピーディスクって何？と言っていた頃から考えるとこの転身ぶりは自分でも信じられません(笑)。これからも全国の野猿公園へ出かけて行って写真をたくさん撮りたいなと思っています。